

授業科目(ナンバリング)	ホテルビジネス英語 (CD302) (実践的教育科目)			担当教員	井上英也 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
観光立国を目指す日本では、外国人旅行客数の急拡大に伴い益々英語でのコミュニケーション力の向上が求められている。本科目は、受入れ体制の核となるホテルでの定型的な接客英会話を修得することにより、外国人とのコミュニケーションの糸口が掴めるようになることをねらいとする。							②⑦⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	ホテルは欧米で発達したビジネスモデルであるため、専門用語の多くが英語である。これらの専門用語の意味を理解し、会話の中で適切に使えることができる。				定期試験	40%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	ホテルのフロント、レストランなどでの定型的な接客英会話を躊躇なく使えるようになる。				スピーキングテスト	30%	
協働・課題解決力	ホテルでの外国人旅行客に対する英語によるケーススタディをパートナーと共に取り組み、それぞれの役割を果たすことができる。				授業貢献	20%	
多様性理解力	英会話の背景にある社会、文化を理解し、より相手に伝わるコミュニケーションができる。				授業貢献	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業貢献 : 30% 英会話のロールプレイの回数、グループワークへの貢献度合、授業態度などを観察法で評価</p> <p>スピーキングテスト : 30% 前半後半に各1回実施</p> <p>定期試験 : 40% 宿泊業の接客時に使用される英会話の理解度を問う(穴埋め式、択一式など)</p> <p>尚、テスト、課題・レポートなどへのフィードバックは、授業中あるいはポートフォリオにおいて個別におこなう。</p>							
授業の概要							
<p>ホテルの接客における定型的な英会話をロールプレイの繰り返しで修得する。また、会話における社会的、文化的な知識をペアワークにより得て、実社会で通用する会話の学習への糸口とする。教員の実務的な経験、知見から、ホテルでの接客に必要な英語によるコミュニケーション能力を獲得する。また、旅行業全般に関し、テキストを使用して知識修得を促す。授業の理解度については、適宜 Manaba を利用して確認する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書 : <i>English for Tourism - Grade 2</i> (対応CD付き) 全国語学ビジネス観光教育協会</p> <p>参考書 : ホテルの英会話ハンドブック</p> <p>指定図書 : 「人生を変える最強の英語習慣」三浦将(著)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>教科書に付いているCDを、講義時間以外でも日々聞く習慣をつける。また、英語の映画、TV、ラジオを通じて生の英語に触れる。基本は、リスニングである。留学生は、英語を日本語に訳す時にできるだけ正しい日本語に訳すように努力する。そのことが、日本語の上達につながる。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	講義全体の進め方、講義内容、試験の方法などについて説明する。	シラバスを読んでおく。
2	フロント 「チェック・イン」	「チェック・イン」に関する英会話表現を学ぶと共に、仕事内容を理解する	Case 1 の不明な単語を調べる。Case1を暗唱できるようにする。
3	フロント 「チェック・アウト」	「チェック・アウト」に関する英会話表現を学ぶと共に、仕事内容を理解する	Case 2 の不明な単語を調べる。Case 2 を暗唱できるようにする。
4	ベル 「部屋への案内」	「部屋への案内」に関する英会話表現を学ぶと共に、仕事内容を理解する	Case 3 の不明な単語を調べる。Case 3 を暗唱できるようにする。
5	コンシェルジュ 「ツアーの予約」	「ツアーの予約」に関する英会話表現を学ぶと共に、仕事内容を理解する	Case 4 の不明な単語を調べる。Case 4 を暗唱できるようにする。
6	コンシェルジュ 「目的地への歩き方」	「目的地への案内」に関する英会話表現を学ぶと共に、仕事内容を理解する	Case 5 の不明な単語を調べる。Case 5 を暗唱できるようにする。
7	コンシェルジュ 「公共交通機関の案内」	「公共交通機関の案内」に関する英会話表現を学ぶと共に、仕事内容を理解する	Case 6 の不明な単語を調べる。Case 6 を暗唱できるようにする。
8	フロントキャッシャー 「両替」	「両替」に関する英会話表現を学ぶと共に、仕事内容を理解する	Case 7 の不明な単語を調べる。Case 7 を暗唱できるようにする。
9	スピーキングテスト (宿泊) レストラン 「席の予約」	宿泊に関する英会話のレベルチェックをおこなう 「席の予約」に関する英会話表現を学ぶと共に、仕事内容を理解する。	Case 1～7 を暗唱できるようにする。 Case 8 を暗唱できるようにする
10	英語によるテーブルマナー	ホテルで食事をしながら、外国人レストランマネージャーからレストランのメニューの見方とテーブルマナーの基本を英語で学ぶ。	ウォーターマークホテルについて調べておく。作法を英語でまとめる。
11	レストランサービス 「席への案内」	「席への案内」に関する英会話表現を学ぶと共に、仕事内容を理解する	Case 9 の不明な単語を調べる。Case 9 を暗唱できるようにする。
12	レストランサービス 「オーダーテイク (和食)」	「オーダーテイク (和食)」に関する英会話表現を学ぶと共に、仕事内容を理解する	Case 10 の不明な単語を調べる。Case 10 を暗唱できるようにする。
13	レストランサービス 「オーダーテイク (洋食)」	「オーダーテイク (洋食)」に関する英会話表現を学ぶと共に、仕事内容を理解する	Case 11 の不明な単語を調べる。Case 11 を暗唱できるようにする。
14	レストランキャッシャー 「会計」	「会計」に関する英会話表現を学ぶと共に、仕事内容を理解する	Case 12 の不明な単語を調べる。Case 12 を暗唱できるようにする。
15	スピーキングテスト (料飲) 総括	料飲に関する英会話のレベルチェックをおこなう これまでの授業のふり返り	この授業をさらに良くするための提案を考えておく。
16	定期試験	筆記試験を実施	授業を振り返り、試験の準備をする。